

「よのなか教室」の総括と今後の課題

I. 「よのなか教室」の実施実績

平成26年度（平成26年9月～平成27年3月）

		回数	「よのなか先生」	中高生講師	延参加児童生徒数	
1. 小学校	5校で	18回	22人	+	6人	1232人 (14校)
2. 中学校	3校で	9	33	+	10	841 (7校)
3. 高校	2校で	8	9	+	3	1309 (4校)
(合計)	10校で	35	64	+	19	3382 (25校)

平成27年度（平成27年4月～平成28年3月）

		回数	「よのなか先生」	中高生講師	延参加児童生徒数	
1. 小学校	7校で	37回	73人	+	38人	3083人 (14校)
2. 中学校	5校で	44	130	+	54	4603 (7校)
3. 高校	3校で	15	16			1334 (4校)
(合計)	15校で	96	219	+	92	9020 (25校)

II. 今後の課題

1. 「よのなか先生」300人登録の早期実現

- ・現在 130人
- ・個別登録依頼活動だけでは限界に来ている
- ・企業経営者に従業員の登録を依頼する
- ・市役所職員への登録を依頼する（市職員課との協議、各部部長への依頼など）
- ・懇話会メンバーへのお願い

2. 学校（先生方）における取組

- ・各学校で年間5回実施を目標（小中高校25校×5回＝125回）
- ・各学校における独自の取組との整合性と調整（多様な取組が展開されることが理想）
- ・各学校・各学年において、毎年継承されていく仕組みの検討
- ・ストーリー性のある取組の創造
- ・高校生を核としたキャリア教育の実施（日向モデルに育てる）
（「高校よのなか教室（高校説明会）」、「高校生をよのなか先生にしたよのなか教室」）

3. 保護者向けの取組への着手

- ・参観日に「よのなか教室」を実施
- ・「家庭教育学級」の行事に「よのなか教室」を実施

4. 地域に向けた啓発活動への着手

- ・区長連合会などに、「ひむかジュニア運動」を提起

以上